

QUICK SHIP

vol. 16

新年のご挨拶

2013年度は競争激化、さらに厳しい時、弊社の方向性の転機ともいえます。

この荒波を乗り切るために、方針の筆頭に次の3点を挙げます。

一つ目は、「海外事業の拡大と統合」

ベトナム・ハイフォン工場は6年目、ホーチミン工場の設立で売上げ増、インドネシアへの進出により生産拠点の拡大。中国は、3工場→2工場へ統合し採算性の取れる事業形態にして安定化を図っていきます。

二つ目は、「材料のグローバル調達率が大きく進む」

コスト削減の一環として、およそ7割近い材料を海外から供給しています。今年にはさらに現地調達により安定したサプライチェーンを築いていきます。

三つ目は、「若手育成の年とする」

去年より執行役が力を付けてきており、次世代への継承に入ってきています。期待が掛かる30代。日本単独で今までの売上げを確保するのが難しくなってくる中で、海外の依存度が高まってきています。日本国内の人件費をいかに効率よく海外に回せるかですが、現在海外候補を選んでおり、若手にチャンスを与えていきます。

今年は一人ひとりのビジョンと計画を明確にして、着実に実行できるように、やる気のある社員を伸ばす事に力を入れていく所存です。

上記の方向性を着実に実行し、業績向上に全力を挙げて参りますので、本年もよろしくお願い致します。

2013年1月5日 取締役社長 浅野 高志

年頭の朝礼

ニッセイエコでは毎年年初日の朝礼で新年の挨拶を1人3分で行い、その年の抱負、目標を発表いたします。

今年には会社のグローバル化の流れに対応すべく、語学のスキルアップとクレーム削減を目標にかかげる社員が多いのが特徴でした。2013年度も社員一同一致団結して頑張ります。



ニッセイエコ社員一同
本年もよろしくお願い致します

TOPICS 耐熱防鼠チューブ ～ブラジル向け白物家電に採用決定～

この度、弊社製耐熱防鼠チューブがブラジル向けの白物家電に採用になりました。

■製品案内

ねずみの嫌う忌避剤(唐辛子辛み成分)をチューブに含有しているため、ねずみがかじることにより辛み刺激を感じ、それ以降かじることをやめます。その為、従来の配線や保護チューブに比べ、ねずみによる被害(咬害)を大幅に軽減することができます。

今後も白物家電だけでなく、厨房機器の機械内配線、住宅、ビルなどの室内配線、天井配線などの保護に見込まれます。

■製品特長

- 材質：耐熱105℃ PVC (RoHs対応品)
- 色：グレー
- サイズ：内径φ4～φ22
- 難燃性：VW-1



TOPICS 日産自動車技術展示商談会

2012年12月5日、6日の2日間に渡って、日産自動車の技術商談会が神奈川県産業技術センター主催のもと、神奈川県厚木市の日産自動車テクニカルセンターで開催されました。

このイベントには、弊社を含む神奈川県の中小企業で77社が出展し、日産自動車(株)他、サプライヤー(日翔会)企業の技術開発、購買の方々に新製品、海外拠点などをアピールしました。

当日、特に興味を示していただいたのは、以下の3点です。

- ① 東南アジア各地に生産工場があり、部品の現調化ができる。
- ② 原料、金型、製造設備に至るまで、自社内に開発技術がある。
- ③ 高耐熱、PP銅害防止、扁平コルゲートチューブなどの開発製品の取り組みをしている。

今後は各種情報をもとに、2013年1月から採用を目指し、早期量産につなげていきます。



ニッセイグループ2013年 生産能力・情報の一元管理

ニッセイグループは、各工場に品質管理部門を置き現地での迅速な対応が可能です。
海外の諸問題を本社にて管理し、情報集約(一元化)することにより、顧客対応サービスの向上を図り、日本側でも迅速な対応が可能です。



■各拠点对応アイテム

	コルゲート	PVCチューブ	DIP	射出	PVCフル	コンパウンド
日本	○	○	○	○	○	○
上海	○	○	○	○	○	
惠州	○	○	○			
ホーチミン	○	○				
ハイフォン	○	○				○
インドネシア	○	○	○		○	○

■成形機・設備詳細

設備	コルゲーター ライン	PVCライン	コンパウンド ライン	PVCフル ライン	DIP成形機	射出成形機
日本	75イン	35イン	25イン	25イン	115イン	85イン
上海	55イン	45イン		15イン	95イン	25イン
惠州	35イン	35イン			25イン	
ホーチミン	25イン	15イン				
ハイフォン	65イン	25イン	15イン			
インドネシア	35イン予定	15イン予定		15イン	35イン予定	

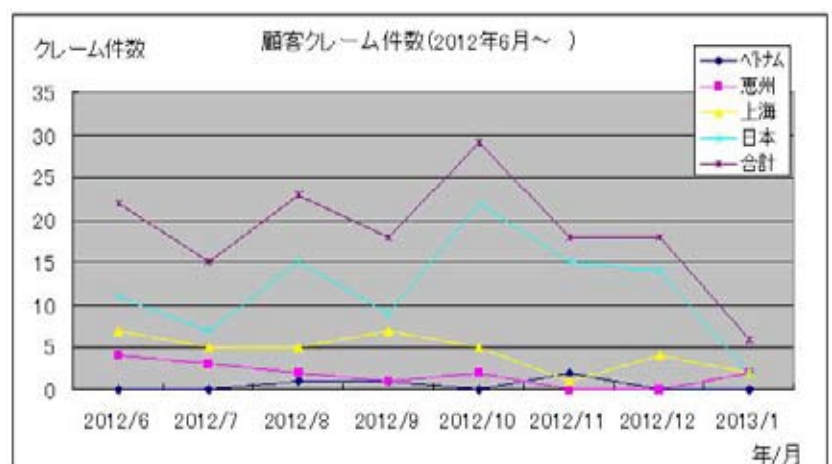
■品質管理体制強化

2012年6月から品質管理体制を強化し、本社・那須工場の日本側だけでなく、海外グループ工場（上海、惠州、ベトナム）の品質状況を一元管理し、グループ全体の品質管理を行っております。

管理範囲を広げる意味合いとしては、各々独立した管理によって生じる「ニッセイグループの総合的な品質サービスの低下」を防ぐことにあります。

具体的には、グループ工場がお互いの品質管理状況を把握し意識しあい、問題点については知恵を出し合って改善を進めることで、クレーム減少につながっております。

今後、更なる品質サービス向上を目指し、同業他社とのサービス格差を図ります。



稲村道雄の履歴書



著者紹介 ニッセイグループの創設者
 生年月日 昭和26年1月23日(62歳)
 生誕地 山形市鉄砲町(母の実家)

第1話 稲村家の因縁

父は稲村菊治で山形県東村山郡山辺町にて、母は鉄砲町の商家の吾住磯吉の6女で熱心な日蓮宗の信仰者であった。父菊治は5代福次の次男で大正7年生まれである。当時は兼業農家であったが代々事業家の家系である。明治中期から山間部の部落で魚屋を営んでいたが、魚屋は仕出し屋もやり結婚式や法事も盛大に引き受けていたと聞く。また、代々愛妻家でお人よしであった性格から、人にだまされ店をたたむ繰り返しで波乱万丈であった。祖父福次は妻ふじのの結核の静養のため、暖かい海風のサナトリウムがある福島県平（現在のいわき市）に移り全財産を現金に換え、漁師相手に高利貸しで生計を立てた。

しかし人の良さで詰めが甘く、いよいよ生活が成り立たなくなると、返済を強く迫ったところ、沖に連れ出され海に投げ込まれた、急死に一生を得るがその後このことが遠因で亡くなる。折りしも父が入学式の当日である。その後失意の中病床の母を背負い、山辺町の開拓村に入村する。これが稲村家の因縁であり、私の人生にこの因縁の納消こそが稲村家の繁栄につながると今日も折に触れ思い出すことである。



さて、その後生活は困窮を極め入植78軒の中で現在は3件が残るが、その一軒が稲村家の本家である。父母は次男であったため身軽であり、職のない山形から藤沢市に半ば夜逃げ状態で引っ越してきた。当時職はなかなか見つからなかったが、運良く自動車電機（後のミツバ）の留守番兼臨時工として職にありついた。その後6歳のとき母は末期の胃がんになるが、最後の神頼みとして父は母を背負って奈良県天理市にて修行に入った。亡くなる3ヶ月間は9歳の兄（竹治）と私6歳、妹4歳の3人暮らしであったが、昼間は4歳の妹ただ一人での留守は危険とのことで途中で妹を山形の親戚に預けた。私たち兄弟がこれほどまで結束が強く仲がよいのは、今は母が残した大きな愛情と素直に喜べるが、残念でならないのは、こんにち兄弟力をあわせてここまで成長した会社を見せてやれなかったこと。それにつけても、幼児3人を置いてでも母に尽くした真摯なまでの看病は誇りに思うし、これこそ稲村家が末代幸せに暮らせる手本を残したと思う。

第2話 母の別れと兄弟仲

母が亡くなってから、父は長い間会社を休んだことにより、また一からの再出発となり、臨時工の初任給から再スタートするのである。その後の2年間は民生委員から古着の下着などの配給があり、生活保護世帯同様の生活であった。近所の親から私とは遊ぶな（くさいから汚らしいからとのことで）と言われていたらしく、いつもひとりぼっちであった。後に父は再婚し妹を連れ戻したが、継母は山形の上山で看護婦をしていただけあり、無類の清潔な人で、古着ではあったが汚れた服など私たちに着せる人ではなかった。

稲村道雄の履歴書

第2話 母の別れと兄弟仲



今も健在で90歳を迎えた。この母は働き者で生活もだいぶ楽にはなったが、朝から内職を手伝わされ、いつも学校は遅刻寸前で、よく泣きながら走って行ったが、兄は悠々と遅刻をしていたので、兄弟でもこんなに性格が違うのだと今でも苦笑する。兄をけなしてしまっただが、私は誰を一番尊敬するかと尋ねられたら一番に兄と答える。大変心の広い、他人思いで継母思いのやさしさは逆立ちしても及ばない。頭もよいし、親孝行。欠点といえば少々時間にルーズなところくらいである。それもおおらかさと理解すると長所である。私はというと、お母ちゃん子であったため、継母にはなじめずお互い相当の苦勞をした記憶がある。

今でもそのことは大変申し訳なかったと反省している。さて、私が高校3年の二学期に父はプレスで切断した指先からの雑菌で（多分破傷風）重態になり、入院と長期休暇をとった。その事で生活は困窮し大学進学をあきらめた。しかし、クラスでは私以外は父親を直近で亡くした1人が夜学に入った（後に外務省に入った）以外は全員4年制大学に進学した。私はこの宿命下に誓ったことがある。「俺は経営者になり金持ちになる」。この元一日（もといちにち）の志で人生を歩む決意をした。進学校で就職斡旋をしてくれなかったことで、私は天理市に6ヶ月の修養（当時は無料であった）に入り、教会長資格検定に合格し神主の資格を取った。

一時は宗教家として生きていこうとも思ったが、早く働いて家庭が楽になってもらおうと思い家に戻った。ところで私は中学1年になるとすぐに牛乳配達のアルバイトを始めた。毎朝4時に起きて修養期間中と事故で入院中の3ヶ月間を除き25歳の結婚式の当日まで12年間続けた。給金は1万円ほどではあったが、すべてを袋のまま母に渡した。当家のお金の管理は独特である。次回はその話をしたい。

●ご本人の略歴（ご本人所有HPより抜粋）

- 1951年 1月26日 山形県山形市鉄砲町生まれ
- 1958年 小学2年 母胃がんで死去（38歳）生活はどん底
- 1969年 茅ヶ崎北陵高校卒業
- 1971年 神道の試験に合格し神主の資格を取得
- 1974年 交通事故内臓破裂腎臓摘出にて身体障害者になる
- 1975年 神奈川県綾瀬市上土棚にて稲村ディップ開業
- 1976年 教会の5女絹代と結婚
- 1979年 長男誕生
- 1980年 次男誕生
- 1982年 長女誕生
- 2006年 55歳最近物忘れがひどいが頭以外は元気
- 2007年 事故の後遺症で血清肝炎悪化で事業承継を考える年
- 2008年 10月の株主総会で社長交代をし、57歳にして会長に就任
- 2009年 悠々自適といかず売上減に悩まされ、体重5kgアップ
- 2010年 数えの60歳メタボ解消に山行三昧大山はマイガーデン
- 2011年 東北大震災にて想うところあり、教会長資格検定受講
ヒロタダ式整体学院入学 易学習得中
- 2012年 年末年始一週間風邪で寝込みましたが、本年は五黄土星で大吉年です
どんな年になるでしょう、あまり良すぎてフライングかも
- 2013年 今年早く退職した〜い。
昨年息子に代表権譲ったのんびり暮らしたいが、きっと認知症になってしまう



NEW STAFF

●本社勤務 海外業務部 竹村さん

2012年10月に入社しました竹村優子と申します。海外業務と秘書を担当させていただいております。

日々変化が大きい業務に携わせていただき、覚えなくてはならない事が多く大変ですが皆様から温かくサポートしていただきありがとうございます。

1日も早く社に貢献できる人材になれるよう努力してまいりますのでどうぞ宜しくお願い申し上げます。



●本社勤務 第四製造部 梶本さん

今年の10月に入社させて頂いた梶本です。入社してまだ2ヶ月ですが学ぶことが多く日々充実しています。

今までのやり方にとらわれず改善し、目的意識をもって行動したいと思います。年始の挨拶でも申し上げた通り、特にQCDSを徹底できるように努力したいです。

ニッセイエコの一員として全力で頑張りますので宜しくお願い致します。



インドネシア研修生2名 研修終了

インドネシア研修生2名が3年間の研修を終了して、帰国されました。これからの本国での活躍をお祈り申し上げます。



第一製造:アグスさん



第二製造:バクティさん

編集後記

稲村道雄会長の半生が描かれたエッセイ「稲村道雄の履歴書」を今号より連載いたします。この企画は企画委員の威さんが企画・立案したもので、今だかつてない内容となり、大変興味深いものになっていると思います。次号以降もどうぞ期待ください。これからもこのような奇抜かつ大胆な企画を掲載していきます。

企画委員会



◆本誌に関するお問い合わせ先

株式会社ニッセイエコ本社
神奈川県藤沢市用田475
TEL 0466-48-7572(代)
FAX 0466-48-8177

◆チューブ製品に関するお問い合わせ先

株式会社ニッセイエコ那須工場
栃木県那須塩原市四区町1540-1
TEL 0287-36-9811(代)
FAX 0287-36-9818

ホームページURL <http://www.nisseieco.co.jp>

オンラインショップ「CAPCO」URL <http://www.capco.jp>